

広 報 く に み

KUNIMI

8

2023

No. 601



Cover

今月の表紙は、くにみ幼稚園での外遊びの一コマ。夏の暑い日差しの中、園庭を元気いっぱい駆け回る子どもたち。鉄棒にぶら下がって「こんなこともできるんだよ！早く写真撮って！」と急かされ慌てて一枚。逆さまになっても、はじける笑顔でポーズをとってくれました。

Contents

- 02 … 【特集】国見町で農業を始める
- 06 … 農業委員会新体制がスタート
- 08 … 令和5年度国見町子ども議会
- 10 … 聖光学院高等学校と協定を締結
- 14 … まちのわだい ほか

就農に必要な資金は？

新規就農するに当たって用意した自己資金の平均額は281万円で、就農した1年目に実際に必要となった費用は平均755万円（全国新規就農相談センター「令和3年度新規就農者の就農実態に関する調査結果」）。農地や住宅、設備・機械などを用意する費用の他、売り上げが安定するまでの収入が少ない時期の生活費のことも考えると、1,000万円程度は用意する必要があります。

しかし、この金額を全て自己資金で用意できる方はほとんどいません。設備・機械などは中古の購入やレンタルを活用し、公的機関などの支援事業を活用することも検討しましょう。



実習農場での研修（くみに農業ビジネス訓練所）

就農

いよいよ就農です。いろいろな課題や問題が発生することもあります。そのようなときは、先輩農家や相談窓口などに相談し、経験を積み重ねていきましょう。

技術研修・就農準備

農業経験が少ない場合は技術の習得が必要不可欠です。専門の教育機関で学んだり、先輩農家で実践的な研修を受けたりして、技術や経営を学びます。就農計画を作成し、住宅・農地・機械などの営農基盤や資金を確保することも必要です。

くみに農業ビジネス訓練所

国見町では、平成30年度から農業の研修施設を開設し、新規就農希望者の年間研修を受け入れています。新規就農を見据えながら、1年間かけた実習と座学講座により野菜栽培と農業経営に必要な技術と能力を身に付けることができます。

町 訓練所長期研修家賃

月額最大 **3.8万円** 補助

国見町への移住就農を目指す方が町営住宅などに入居し長期研修を受ける場合、研修期間中の家賃を補助します。

町 経営開始支援資金

最大 **150万円** 貸付

町内で新規就農する場合、営農支援のための資金を貸付します。5年経過後、一定の要件を満たせば返済が免除されます。



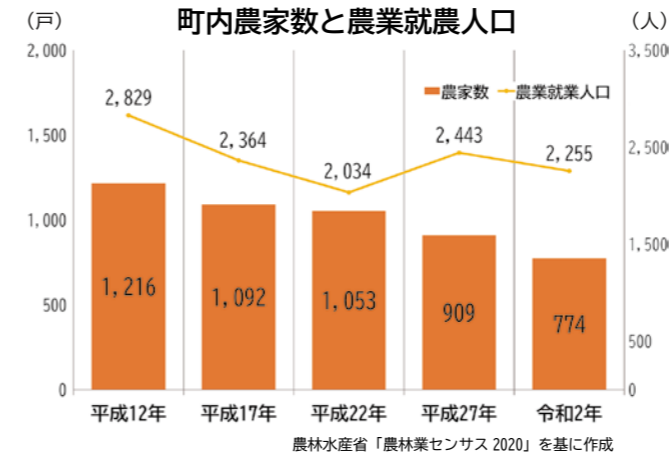
国見町で農業を始める

高まる農業への関心

農林水産省では、現状を把握するため、5年ごとに農林業実態調査を実施しています。「農林業センサス2020」によると、全国の農家数は、平成12年の約312万戸から令和2年には約174万戸にまで減少しています。国見町の農家数も平成12年の1,216戸から令和2年には774戸にまで減少していて、高齢化と後継者不足という問題に長らく直面しています。その一方で、町の農業従事者数は、平成22年の2,034人まで減少傾向にありましたが、平成27年には2,443人と一旦増加に転じていて、徐々に農業への関心が高まっています。



阿津賀志山から望む信達盆地



地理的な利点を生かした農業

国見町は信達盆地の肥沃な土壌に恵まれた土地です。県内で一番長い日照時間という気候的利点を生かしたモモの栽培や、稲作が農業の中心です。福島県は、全国でも有数の農産物産出県として知られていますが、特に国見町は果物産出額が県内第4位（農林業センサス2020）、農業全体の産出額でも上位に位置していて、農業に適した場所です。

農業体験

就農を決断する前に「農業とはどういうものなのか」を実際に体験しましょう。休暇などを利用して農業体験や研修を受け、農業が自分の目指す職業であるのか、しっかりと判断することが必要です。



ふくしまのグリーン・ツーリズム

県が実施している「ふくしまのグリーン・ツーリズム」では、農業体験、農家レストラン、農家民宿などさまざまな形で農業に触れることができます。



就農相談

農業を始めるための情報を収集し、具体的なイメージを掴みます。また、農業に興味があって仕事にしたい、でも「何から始めればいいのか…」分からない方のために、さまざまな就農相談窓口があります。



主な就農相談窓口

- ・ 県農業経営・就農支援センター ☎ 521-8676
- ・ 県農業振興公社就農支援センター ☎ 521-9848
- ・ 県北農林事務所伊達農業普及所 ☎ 575-3181
- ・ 産業振興課農林振興係 ☎ 585-2986



家族の喜ぶ顔が見たくて——

佐久間 秀幸さん（塚野目）

【就農】令和5年4月から

【主な栽培物】モモ・ミニトマト



🍓 手厚いサポートが決め手

県外に住んでいましたが、長女が小学校に入学する前に『実家に戻る』という選択肢がありました。コロナ禍や新たに子どもが生まれたことも、国見町に戻るきっかけのひとつになりました。移住後の仕事を考えた時、町にはくみ農業ビジネス訓練所もあるし、就農する際のさまざまなサポートもあったので、新しく仕事を探さずに就農を決意しました。

🍎 家族との時間が持てた

畑を40aほど借りて桃を栽培していますが、予定通りにいかないことが多くて難しいと感じました。ハウスではミニトマトの栽培も始めましたが、こちらもいろいろと難しいです。訓練所でトマトの栽培を学べたので助かりました。また、以前の仕事と比べると職場が近いので、時間的に余裕があります。家族との時間が多く取れるようになったと感じています。

🍓 自由に働けること

自分で作ったものが売れた時や、家族がおいしそうに食べてくれることがうれしいです。自分で選んだ作物を自由に作るができるのは、農業の大きな魅力だと思います。例えばミニトマトだと、より甘い品種や皮が薄いものなど、市場にはほとんど並ばないような、珍しい品種の栽培に挑戦することもできています。

🍎 ひとつひとつ着実に

まずは収穫量を増やすことが目標です。農作業に慣れて余裕が出てきたら畑を借りて、徐々に作付面積を増やしていきたいです。今は道の駅にだけ出荷していますが、いろいろなところで販売できるような販路の確保もできればと思っています。いつか、キッチンカーなどもやってみたいです。加工品を作って、町外や県外へ行って販売するのも目標のひとつです。

🍓 ゼロからのスタート

町に移住したときは、農業のことを一切知りませんでした。訓練所で学ぶ機会がなければ、ミニトマトを作ろうと思わなかったし、桃に関しても畑を借りてまで農業をしようとは思いませんでした。訓練所の存在は大きかったです。最初はいろいろと準備が必要なので大変だと思いますが、さまざまな支援制度や補助があるので、まずは相談してみると良いと思います。

🌾 これまでの恩返しをしたい

子どもの頃から祖父の農業の手伝いをしていました。祖父が楽しそうに農作業をしているのを見て、自分も農業をやってみたいと思うようになりました。高校、大学とまだまだ農業を学んでいる途中ですが、昨年祖父が亡くなったことが大きなきっかけになりました。祖父に恩返しをしたいと思ったし、いろいろなことに挑戦したいと思い就農を決意しました。

🍎 地域の一員になれた

実際に自分でやるのと、外から見ているのでは大きな違いがあることを実感しました。農業の量を間違ったり、作物が病気になってしまったり、最初から失敗ばかりでした。それでも、自分が作ったものを「おいしい」「大夢が作ったものを食べたい」と言ってくれる人がいます。周囲の方もよく声をかけてくれるし、地域の一員として働いている実感があります。

🌾 挑戦し続けること

自分が作ったものを「おいしい」「また買いたい」と言われることがうれしいです。大学に通いながらも、何とか農業ができています。自由に働けて、思った以上に時間が作れることが魅力だと思います。自分の「やる気」次第ではいろいろなことにチャレンジできるし、「挑戦したい」と思っている人にとっては、とても魅力的な職業のひとつだと思います。

🍎 町や地域に貢献したい

まず第一に、おいしいものを作れるようになりたいです。耕作放棄地などを借りて、農業の規模を拡大したいと思っています。お客さんの顔を見ながら販売できるような販路も開拓してみたいです。また、先輩たちのアドバイスをいただき、町や地域に貢献できて、農業や地域を盛り上げて守っていきけるような取り組みをしたいと思っています。

🌾 まずは体験すること

私自身、就農する際は町の産業振興課の方に何度も相談に乗ってもらったなど、しっかりとバックアップしてもらいました。農業体験やイベント、町にはくみ農業ビジネス訓練所など、いろいろな手段があると思います。自分なりに情報を集めて、まずは農業を体験してみるが一番だと思います。



地域の農業を守りたい——

八巻 大夢さん（徳江）

【就農】令和4年7月から

【主な栽培物】水稻・モモ





交通対策協議会長賞（最優秀賞）を受賞したみなさん

国見小児童が交通安全を呼びかけ

国見町小学生交通安全標語コンクール

国見町交通対策協議会（引地真会長）は、交通安全への意識を高めてもらうことを目的に、国見町小学生交通安全標語コンクールを開催し、7月13日に国見小学校体育館で、標語コンクールの表彰式を行いました。

コンクールは国見小学校の児童を対象に、交通安全標語を募集し、応募総数148点の中から、26人が入賞しました。入賞した標語が書かれた看板は町内各地に設置され、交通事故防止を呼びかけます。

〔入賞者〕（敬称略）

- ◆交通対策協議会長賞
 穴戸可愛花（二年）
 高橋 光太（二年）
 齋藤 葵依（三年）
 渡邊 航平（四年）
 八島 桜子（五年）
 菅野 礼依（六年）

◆教育長賞

- 佐藤 美咲（二年）
 実沢 果林（二年）
 大越 陸翔（三年）
 齋藤 叶芽（四年）
 渡邊マリア（五年）
 瀬戸 冬樹（六年）

◆校長賞

- 佐藤 美心（二年）
 五十島 尊（二年）
 児島紗津希（三年）
 曳地 柊磨（四年）
 樋口 航大（五年）
 制野 巨留（六年）

◆交通安全協会各部会長賞

- 藤田・穂苅 綸（六年）
 小坂・若林 大翔（二年）
 森江野・鈴木 崇介（二年）
 大木・児島奈津希（五年）

◆各地区交通安全母の会長賞

- 藤田・吉田 るか（五年）
 小坂・安藤 禅（五年）
 森江野・高橋 蒼河（六年）
 大木・高橋 柗人（二年）

藤田地区交通安全母の会は、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の取り組みのひとつとして、交通安全の啓発活動を実施しました。7月20日には、藤田保育所と国見子どもクラブで、交通安全啓発のチラシや啓発グッズの贈呈式を実施。子どもたちとその保護者へ、エコバックや交通安全塗り絵、お菓子などを贈呈しました。藤田地区交通安全母の会会長の高橋恵子さんは「絶対に事故に遭わないで、楽しい夏休みにしてください」と子どもたちに交通安全を呼びかけました。

交通安全母の会 啓発グッズ贈呈式

交通事故防止へ 啓発活動を実施



代表児童からお礼のことは



国見子どもクラブでの啓発グッズ贈呈



藤田保育所での啓発グッズ贈呈

農業委員会新体制がスタート

農業委員・農地利用最適化推進委員の改選

町農業委員会辞令交付式が7月20日、国見町役場で行われ、引地真町長より8名の農業委員に辞令が交付されました。

農業委員は推薦・公募を実施したうえで農業委員候補として選考され、議会の同意を得て、町長が任命します。

辞令交付後に農業委員会臨時総会が開催され、会長に八島富一委員（新任）、会長職務代理者に佐久間久子委員（新任）が選出されました。

農業委員会は、農地法に基づく売買・賃借の許可や農地転用案件への意見具申、遊休農地等の利用の最適化の推進を図ることを目的とする行政委員会で、委員は特別職の地方公務員となります。

委員の任期は令和5年7月20日から令和8年7月19日までの3年間です。



辞令が交付された農業委員の皆さん

農地利用最適化推進委員は担当地区をもち、農業委員と連携して農地利用の最適化の推進の現場活動を行います。

町では農業委員と同様に推薦・公募を行い、農業委員会における選定を経て、7月20日に11名が農業委員会から委嘱されました。任期は農業委員と同様に3年間です。

退任委員に感謝状

7月19日に任期満了により退任する皆さんのこれまでの功績をたたえ、感謝状贈呈式が7月18日に国見町役場で開催され、引地真町長から退任委員の皆さんに感謝状が手渡されました。

農業委員（敬称略）	最適化推進委員（敬称略）
渋谷 福重（光明寺）	菊地 信七（塚野目）
齋藤 紀次（山崎）	高橋 一博（高城）
井砂 秀明（西大枝）	松浦 富夫（西大枝）



選任されたことを報告する八島富一会長（中央）と佐久間久子職務代理者（右）

農業委員（敬称略）

八島 富一（山崎）	再任
佐久間久子（森山）	再任
佐藤 浩信（徳江）	再任
佐藤 武（石母田）	再任
赤坂 正弘（内谷）	再任
吉田 和男（貝田）	新任
齋藤 勇子（徳江）	新任
佐藤 昭文（西大枝）	新任

推進委員と担当地区（敬称略）

秦 正徳	藤田・山崎
齋藤 光弘	石母田
赤坂 齋	鳥取・内谷
黒田 武	小坂・泉田
佐藤 正春	森山
佐久間秀男	徳江・塚野目
八巻 信詞	
渋谷 憲道	貝田・光明寺
渡邊 秀人	高城
松浦 勝美	大木戸
鈴木 正則	西大枝・川内



感謝状を受け取った退任委員の皆さん

自分たちの可能性を見つける 県北中学校職場体験



働くことの大切さを学ぶ

県北中学校の2年生63人が、7月11日から12日の2日間、町内外の16事業所で職場体験を行いました。

生徒たちは、小売店から官公庁、飲食店や教育施設、病院や農業などさまざまな分野の仕事を経験。その職業で働く、社会の先輩たちと仕事を共にすることで、社会生活の一般常識はもちろん、仕事に必要な知識や技術、働くことの意義を学びました。

教室の授業だけでは学べない、それぞれの職場の雰囲気や、働く人たちの仕事に対する思いを、肌で直接感じる貴重な機会となりました。



1. 園児たちとおやつ時間① (くにみ幼稚園) 2. 販売用のジャガイモをきれいにします (くにみ農業ビジネス訓練所) 3. プールにも入りました (くにみ幼稚園) 4. 真剣にレジ打ち作業 (道の駅国見あつちの郷) 5. 園児たちとおやつ時間② 6. 丁寧に商品の品出し (コープふくしま国見店)

将来の夢に向かって

職場の先輩たちから「まごころを持つてお客様と向き合うことが大切」「何度も失敗を経験することで、技術や知識が身につく」と教わり、職場体験に臨んだ生徒たち。

初日は不安な表情を見せていた生徒たちも、2日間の職場体験を終える頃には、笑顔で仕事に取り組み姿も。その姿に、さまざまな壁を乗り越え、自分の夢をかなえようとする強い意思が感じられました。

子どもたちが 国見町の未来を考える



令和5年度国見町子ども議会

子ども議長：大内美花さん
子ども議員：村上笑平さん、野村鴻志さん、半澤奏弦さん、齋藤 遥さん、大勝美緒さん

子どもたちが考えたまちづくり

国見町子ども議会が7月18日、国見町役場の議場で開催されました。県北中学校3年生の生徒が子ども議長と議員になり、まちづくりに関する質問や提言をしました。

議長の大内美花さんが議会の開会宣言をすると、議員席に座る子ども議員の5人は、自分たちで考えたまちづくりに関する一般質問を行いました。町の移住施策や企業誘致、農地の最適化利用の取り組みや商業施設の建設・誘致、空き施設の活用や高齢者対策など幅広い質問に、引地真町長や担当課長が丁寧に答弁しました。

傍聴した生徒たちも、子ども議員の質問や町からの回答を真剣にメモする姿が見られました。

町の将来を担う子どもたちが、まちづくりへの関心を高め、これからの町の在り方を考える貴重な機会となりました。



自分の未来を”見晴るかす” —
中学部・見晴るかすコース、順調に進んでいます！

放課後塾ハル中学部では、6月から始まった新コース「見晴るかすコース」が進んでいます。

「好き」を探るを掲げた1学期は、町民の皆さまにそれぞれの「好き」を訪ね歩き、「好き」の広さと深さを学んでいます。お聞きした内容は、町の皆さまのさまざまな「好き」が詰まった冊子としてまとめていきます。



冊子やインタビュー用フリップのデザインを考え、質問を練り、準備を重ねて臨んだインタビュー。5人の生徒たちの頑張りを、ぜひご覧いただければと思います。また、インタビューにご協力いただいた皆さまには、深く感謝いたします。



放課後塾ハルは随時、新規入塾者を募集しています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

Email:houkagojuku.halu@gmail.com
TEL: [中学部] 080-7236-6232 / [小学部] 080-9151-6442
※ 12:30 ~ 21:30 土日祝日、年末年始を除く。

人材育成と地域社会の発展を目指して

「聖光学院高等学校と国見町の連携協力に関する協定」を締結



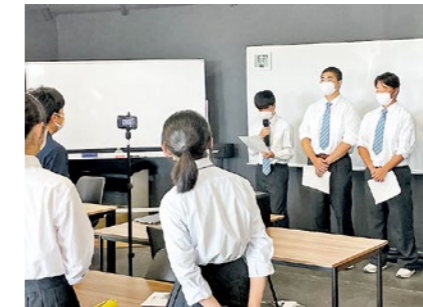
協定書を手交する新井秀学校長（左）と引地真町長（右）



国見町公営塾「放課後塾ハル」にて教育支援を実践

生き抜く力を「探究」する
聖光学院高等学校と国見町は、7月21日に連携協力に関する協定を締結しました。国見町役場で開催された締結式では、聖光学院高等学校の新井秀学校長と引地真町長の両氏が協定書に署名しました。聖光学院高等学校では、令和4年度から普通科に探究を主軸とした3コースを新設。現代社会の急激な変化に柔軟に対応できる思考力・判断力・表現力を育成し、「正解のない時代」を生き抜く力を育むことを目標としています。

これまで、聖光学院高等学校と町は、さまざまな分野で連携して事業に取り組んできました。この協定を締結することで、今後も聖光学院高等学校と町が包括的な連携のもと、教育・文化・福祉・地域産業・まちづくりなどの各分野で相互に協力し、人材育成と地域社会の発展に寄与していきます。



「エリアデザインラボ」で実践的なまちづくりを学ぶ



「旧佐藤家住宅」で国見町の歴史文化を学ぶ

がんばる子どもたちを応援

国見町青少年育成町民会議 奨励金交付

全国大会や県大会に出場した生徒に奨励金を交付しました。

【第40回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト】

近野花果（高3）

【第66回福島県中学校体育大会（団体・個人）】

陸上競技共通男子 800m：関根侑弥（中3）

男子ソフトテニス：仲野颯愛 他7人（団体）

（個人）佐藤孝信（中3）、齋藤充希（中1）、仲野颯愛（中3）、四家侑磨（中2）、八島奎祐（中2）、後藤翔音（中2）

女子ソフトテニス：佐藤優心 他7人（団体）

（個人）佐藤優心（中3）、齋藤萌那子（中3）

【第61回福島県吹奏楽コンクール】

吹奏楽コンクール：佐藤由紀乃 他27人（団体）



▲奨励金を受け取った近野花果さん



▲奨励金を受け取った皆さん

くにみ幼稚園（年長組）

心やなまオたま



あべ こはる



ししど そら



さとう そらと



たかの ひかり

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



史跡阿津賀志山防塁 くにみ蓮まつり 2023 ～蓮樽の紹介～

今年も蓮の開花の時期になりました。7月8日から30日にかけて、あつかし千年公園でくにみ蓮まつりが開催され、多くの来場者で賑わいました。

公園内の蓮池には、中尊寺蓮と大池蓮の2種類の蓮が植え付けられています。大きな違いは立葉の肌触りで、葉の半分がガサガサしているのが中尊寺蓮、全体的にツルツルしているのが大池蓮です。

そのほか公園内では樽に入れて育成し、展示している約20種類の蓮もあります。そこで今回は、あつかし千年公園に設置されている、樽に入った蓮を紹介します。



蓮池北側にある蓮樽

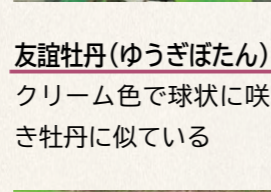
くにみ蓮まつりでは、蓮の葉を使った草木染体験や蓮シャワーも行われました。

樽に入った蓮は、あつかし千年公園のほか、道の駅国見あつかしの郷や、あつかし歴史館にも展示しています。ピンク色ではなく白色の蓮や、形が異なる蓮など、町内で多種多様な蓮を見ることができます。

間もなく見頃を終える蓮ですが、さまざまな蓮をお楽しみください。



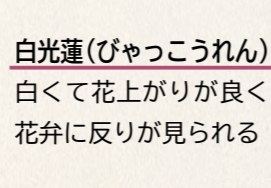
酔妃蓮(すいひれん)
開花初期はピンク色だが次第に白くなる



友誼牡丹(ゆうぎぼたん)
クリーム色で球状に咲き牡丹に似ている



知里の曙(ちりのあけぼの)
初期の花は紅と橙の中間色で曙を思わせる



白光蓮(びゃっこうれん)
白くて花上がりが良く花弁に反りが見られる

第10回国見町に咲く中尊寺蓮絵画コンクール作品募集中!



第9回 一般の部 最優秀賞作品

(一社)二重堀サポートネットワーク主催による「中尊寺蓮絵画コンクール」を今年も開催しています。

【募集内容】

- 題材** 国見町に咲く「中尊寺蓮」と「阿津賀志山防塁」
- 用紙** 四つ切り画用紙 (39 cm × 54 cm) ※応募は1人1点まで
- 募集期限** 8月25日(金)
- 提出方法** 企画調整課地域振興係・あつかし歴史館へ持参、または郵送で提出



伊藤 愛
(Ai Ito)

— Activity Report —

Vol. 36

地域おこし協力隊活動日記

エリアデザインラボ開催中——

こんにちは！4月から活動している関係人口創出チームの伊藤です。
6月に、まちづくり実践講座「エリアデザインラボ2023」の説明会を実施しました。今年は町内外の高校生や大人29人のメンバーを迎え、遊休化しつつある「藤田駅前広場」の活用について、天候に左右されない小屋づくりなどの実現に向けた具体的なプランを作成します。

次回8月20日回の活動では、「エリアデザインラボ・サミット」と題して、過去の受講生との交流会兼勉強会を開催し、現在どんな取り組みをしているのか話を聞きます。興味のある方はメールまたは公式LINEにお気軽にご連絡ください！

また、「エリアデザインラボ2023」で話し合った内容について、11月23日(日)に町民の皆さんへ向けた活動報告会も予定していますので、お楽しみに！

Email: 923areadesign2023@gmail.com
開催予定: 毎月第3日曜日 午前10時から午前11時30分
※天候等で変更あり
開催場所: 国見町大字山崎字館東 14-8
Co-learning Space アカリ 2階スタジオ



【公式LINE】



6月4日の説明会の様子



7月16日の花壇整備の様子

むかしむかし、信達平野が湖の時代。石母田の峠が道路になっていた頃、荷物をつけた牛がその道路を通った時に、足を滑らして転げ落ちてしまいい、それが石になったと伝えられています。
信達平野が湖水だったという証拠は、あつかし山の中腹、今は展望台や道路に開発されましたが、昔もそこには道がありました。そこで露出している岩に、貝の化石がくっついていていたそうです。実際に帆立貝の化石を採ってきた人もいたとか！
その湖水はどこにいったのかというと、五十沢の「猿ばね」というところに吸い込まれて、太平洋まで流れていったと伝えられています。



「上街道ころげた牛は石になり」

国見の民話
かるた

【第四回】
石母田の牛石

甘くておいしい桃をありがとう ふくしま未来農業協同組合が桃を贈呈

ふくしま未来農業協同組合は7月14日、伊達地区で生産された安全で甘くておいしい桃をくにみ幼稚園の園児に贈りました。八島秀行国見営農センター長から桃を受けとった園児たちは、感謝の気持ちを込めて描いた桃のイラストを手渡しました。八島センター長は「暑い日が続くので、夏に負けないようにおいしい桃を食べて、元気に過ごしてください」と話しました。



贈られた桃を手にする園児たち

あいさつがつくる明るい社会 「社会を明るくする運動」啓発活動

犯罪や非行のない安全・安心な社会を目指す「社会を明るくする運動」の啓発活動が7月18日から3日間、町内各所で行われました。

活動初日の18日には、県北中学校で啓発活動の一環としてあいさつ運動を実施。生徒会役員の生徒や保護司の皆さんが、登校してくる生徒たちとあいさつを交わしながら、犯罪や非行のない社会づくりを呼びかけました。



あいさつ運動を行う委員の皆さん

華やかに彩るつるし飾り くにみひなの会 つるし飾り展

くにみひなの会（安田節子会長）による「つるし飾り展」が7月2日から7月23日までの間、大木戸ふれあいセンターで開催されました。

今回の開催は、コロナ禍の影響により約3年半ぶり。会場には色とりどりのつるし雛のほか、和紙人形やミニチュアハウスなど、会員たちの多彩な作品が展示され、町内外から訪れた来場者たちの目を楽しませました。



色鮮やかなつるし飾りが来場者を出迎えました

みんなの願いがかないますように くにみももたん広場で七夕飾り

くにみももたん広場では、訪れた子どもたちに七夕を楽しんでもらおうと七夕飾りを作り、場内に展示しました。

七夕飾りには、子どもたちが思い思いの願いごとを書いた短冊がたくさん。短冊に書く願い事を、真剣な表情で考える子どもたちの姿も見られました。子どもたちは、スタッフ手作りの衣装を着て写真撮影をするなど、楽しいひとときを過ごしていました。



スタッフ手作りの衣装を着た子どもたち



受賞報告に訪れたGela319の皆さん

世界が認めるマーマレードを目指して Gela(ジェラ)319がコンテストで金賞受賞

国見町のジェラート店「Gela319」が手がけた「レモンマーマレード」が、第5回ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会で金賞を受賞。6月23日に国見町役場を訪れ、引地真町長に受賞報告をしました。金賞の受賞は県内初で、東北でも2例目。店長の齋藤礼奈さんは「初出品で賞が取れるとは思っていなかった。次は世界大会に挑戦したい」と笑顔で意気込みを語りました。



意気込みを語るミスピーチの皆さん

福島県産桃を召し上げられ ミスピーチキャンペーンクルーが来町

2023 ミスピーチキャンペーンクルーが6月29日に国見町役場を訪れ、キャンペーン活動開始のあいさつを行いました。ミスピーチの皆さんは、「福島のおいしい桃はもちろん、豊かな自然や魅力ある果物を、明るい笑顔でPRしていきます」と意気込みを語りました。引地真町長は「福島の果物を皆さんが心待ちにしています。今年も一緒に頑張りましょう」と激励しました。



犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を目指して

安全・安心な社会の実現を誓う 「社会を明るくする運動」国見町推進委員会

犯罪や非行のない安全・安心な社会を目指す第73回「社会を明るくする運動」推進委員会が7月3日、国見町役場で開催されました。朝内尚光委員が岸田文雄内閣総理大臣、内堀雅雄福島県知事のメッセージを読み上げ、黒田典子福祉課長に手渡しました。引き続き、出席者は犯罪や非行のない社会の実現に向けて意見を交わしました。



大切に育てた人権の花が寄贈されました

思いやりの心とともに ”人権の花”を町内団体へ寄贈

国見小学校の整美委員の児童と町人権擁護委員の皆さんが7月13日、人権の花運動で育てた花を町へ贈呈しました。国見小学校体育館で行われた贈呈式では、制野亘留さん（6年）が「一生懸命水やりをして大切に育てました。育てた花をたくさんの人にみていただき、心を癒してほしいです」とあいさつ。贈呈された花は、町デイサービスセンター、国見の里、公立藤田総合病院、藤田駅、役場庁舎に飾られます。



ニコニコ相談会

- 実施日 10月17日(火)
- 時間 午前10時～午前11時30分
- 会場 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者 国見町在住の妊婦
国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物 母子健康手帳、子どもの飲み物
- 申込み 前日までにほけん課保健係または藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

乳児健診

- 実施日 10月26日(木)
- 受付時間 午後1時15分～午後1時45分
- 会場 観月台文化センター 第1和室
- 対象者 3か月児(令和5年6月生まれ)
9か月児(令和4年12月生まれ)
- 持ち物 母子健康手帳、オムツなど
- 内容 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて

子どもと一緒に歩もう ～里親入門講座～

社会的擁護を必要とする児童の受け皿となる里親制度について県民の理解を深め、里親に関心を持っていただくとともに、里親の新規開拓を目的とした講座が開催されます。

- 開催日時・場所 第1回 10月19日(火) 午前10時から午前11時30分
伊達中央交流館 1階多目的ホール(伊達市北後22-1)
- 第2回 10月24日(火) 午前10時から午前11時30分
福島市市民会館 5階501会議室(福島市霞町1-52)
- 対象者 地域における子育て支援や里親制度、児童の福祉に関心のある方。※各会場定員20人
- 参加費 無料
- 申し込み・問い合わせ 福島県中央児童相談所(福島市森合町10-9)
☎534-5101(土日祝日を除く、午前8時30分から午後5時15分) FAX:534-5211

院長先生の診察室から

【第21回】



公立藤田総合病院院長
近藤 祐一郎 先生

今年の夏は猛暑になるとマスコミでは報道されています。7月中旬の梅雨が明け前から、真夏日が度々発生しており、昔より暑さが厳しくなっているように感じます。当院の救急外来では、熱中症の疑いの患者さんがかなりの頻度で搬送されてきます。コロナ感染症よりも、生命の危険があるような気がします。小さな子どもさんやご高齢の方は、家の中でも、熱中症になる可能性がありますので、油断は禁物です。熱中症は多彩な症状があるので、熱中症と思っていない方もいます。さらに、持病のある高齢の方は夏の暑さで、体に影響がしやすい傾向があり、自分で症状を訴えられない事がよくあります。周囲の方の適切なご配慮が必要ですので、よろしくお願いします。いつもと違って、様子がおかしいと感じた場合は、早めの受診をお勧めします。

暑さは熱中症だけでなく、体調不良も引き起こします。一般的には夏バテと呼ばれています。予防対策として、①十分な睡眠(環境整備も大切)、②エアコンを上手に利用(室温は28度が目安)、③入浴はぬるめのお風呂にゆっくり入る、④冷たいものをとりすぎない(胃腸に負担をかけます)、⑤水分補給とミネラル・ビタミン補給(野菜・果物を十分に)、⑥栄養バランスに気を付ける(麺類だけではダメですよ)、⑦涼しい時間に適度な運動、などです。厳しい暑さを乗り切って、実りの秋を良好な体調で迎えましょう。

ほけんだより

— Health topics —

☎ほけん課 保健係 ☎585-2783

✉hoken@town.kunimi.fukushima.jp

くにもシェイプアップ教室(秋コース)参加者募集中!

町ではメタボリックシンドロームの予防と解消を目的に1年を通じて運動教室を開催しています。この教室では、本格的なフィットネスジムの先生を招き「体重減少」にポイントを絞った運動を行います。ぜひ申し込みください!一緒に目標を達成しましょう!

- 申込方法 ほけん課保健係まで
※【電話】か【窓口】で申し込みください。
- 申込期限 8月30日(木)
- 参加費用 無料
- 定員 30人
- 場所 森江野第2体育館(森山字太田川36)
- 対象者 町内在住40歳から65歳の方
(対象年齢以外の方もお気軽にご相談ください)
- 申込先 ほけん課保健係 ☎585-2783
※総合検診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者などには、広報紙よりも先に個別周知しています。

	開催日	時間
1	9月12日(火)	午後1時30分から午後3時
2	9月26日(火)	午後1時30分から午後3時
3	10月6日(金)	午前10時から午前11時30分
4	10月10日(火)	午後1時30分から午後3時
5	10月13日(金)	午前10時から午前11時30分
6	10月20日(金)	午前10時から午前11時30分
7	10月24日(火)	午後1時30分から午後3時
8	10月27日(金)	午前10時から午前11時30分
9	11月7日(火)	午後1時30分から午後3時
10	11月10日(金)	午前10時から午前11時30分

国見町健康ポイント事業にご参加ください!

「国見町健康ポイント事業」は、毎日の運動や食生活、各種健診受診、社会参加などのさまざまな健康づくりに取り組み、「健康ポイント」を集めるものです。ポイントを集めると「ふくしま健民カード」がもらえます。そのカードを県内の協力店で提示するとさまざまな特典が受けられます。おうちでできる健康づくりにチャレンジして、お得な特典をゲットしましょう。

- 対象者 18歳以上の国見町民(高校生を除く)
- 参加方法 ①ほけん課保健係の窓口で「国見町健康ポイント事業 記入台紙」を受け取ります。
②台紙の項目に従って健康づくりを行い、ポイントを入力します。
③ポイントが集まったら、ほけん課保健係に持参ください。ポイントに応じた「ふくしま健民カード」と抽選で福島産米などが当たる「プレゼント応募はがき」をお渡しします。
- 実施期間 令和6年3月8日(金)まで
※ふくしま健民カードや協力店の詳細については、健康ふくしまポータルサイトをご覧ください。



詳しくはこちら

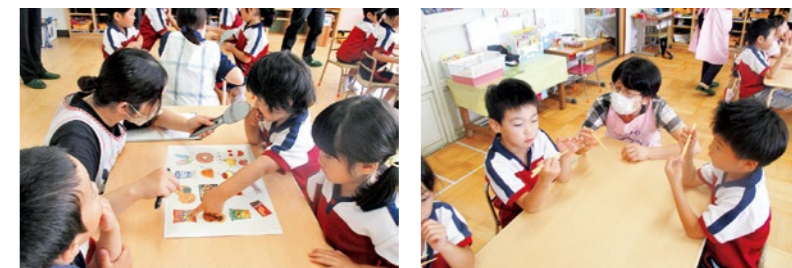


食育シリーズ



町では食生活改善推進員の皆さんと栄養士が、くにも幼稚園の子どもたちを対象に食育教室を開催しています。

7月は年中・年長組で「おやつを食べ方について」「正しい箸の持ち方について」をテーマに開催しました。





国見町図書館からのお知らせや新刊図書情報を掲載しています。ぜひお友達登録してください！



▲LINE登録はコチラから



第2回子ども司書講座・活動



日本十進分類法を学びました



雑誌の装備に取り組んでいる様子

第2回子ども司書講座と活動が7月8日に開催されました。

講座の「日本十進分類法について」では、学校司書の菅野真由巳さんから本を分類するきまりを学び、返本作業に挑戦しました。受講生は互いに教え合いながら取り組みました。

活動の「雑誌の装備に挑戦しよう」では、新刊雑誌の装備からシステムの登録まで挑戦し、苦戦しながらも、気泡が入らないように注意しながら取り組みました。

国見町代表として奮闘！

県民スポーツ大会 県北地域大会

第76回福島県総合スポーツ大会県民スポーツ大会県北地域大会が7月8日から開催され、町代表として国見町体協ソフトボール部（壮年ソフトボール競技）、国見ST（ソフトテニス競技）、winwin（家庭バレーボール競技）が出場。各チームが猛暑のなか、熱戦を繰り広げました。



▲ソフトテニス競技の様子

出場チーム募集！

第47回国見町駅伝競走大会

日時：10月29日(日) 午前8時開会 午前9時スタート

コース：上野台運動公園の周回コース(6区間:11.8km)

申込期限：9月8日(金)

問い合わせ：生涯学習課文化スポーツ係

☎ 585-2676

施設の無料開放のお知らせ

8月21日(日) 「福島県民の日」

9月23日(土) 「くにみの日」※町民限定

【対象施設】 ・観月台文化センター
・上野台運動公園

※冷暖房・照明・電源等の付属設備使用料は別途徴収

観月台文化センター工事のお知らせ

・体育館解体工事（3月末まで）

※ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

少年仲間づくり教室「ラグビー教室」

地域学校協働本部事業

少年仲間づくり教室「ラグビー教室」が6月24日、聖光学院高等学校ラグビー部の皆さんを講師に迎え、国見小学校体育館で開催されました。

36人の教室生が参加し、ラグビーボールでパスの練習をしたり、腰に付けたタグの取り方などを教えてもらいました。後半ではチームに分かれて試合を行い、チームで一緒に汗を流し、活発な活動となりました。



▲白熱した試合を繰り広げた教室生たち

「地域の学校応援団」ボランティア募集！

地域学校協働本部事業 / プール見守りボランティア活動

6月から7月にかけて、小学1・2年生の体育の授業でのプール見守りボランティア活動を行いました。児童たちの着替え補助や、安全確保のための監視などの支援により、先生方は児童たちを指導する時間を確保できます。

学校では地域の皆さんの協力を必要としています！子どもたちの笑顔のために、「地域の学校応援団」としてボランティア活動に参加してみませんか？興味がある方は問い合わせください。 ☎生涯学習課 ☎ 585-2676



▲プール見守りボランティアの皆さん

▶Life long-Learning

生涯学習通信

国見町教育委員会生涯学習課（観月台文化センター）

☎ 585-2676 Fax585-2707

E-mail : shogai@town.kunimi.fukushima.jp



▲舞台のセットに触れる子どもたち

「ヘレン・ケラー ひびき合うものたち」

令和5年度キッズシアター

令和5年度キッズシアターが6月30日、観月台文化センターホールで国見小学校児童を対象に開催されました。「ヘレン・ケラー」は、19世紀のアメリカに実在した人物の有名なお話です。

子どもたちは大きな舞台セットを前に、真剣な表情で演技を見つめていました。また、開演前には舞台のセットに触れたり、演者の衣装を着用したり、演者との直接の触れ合いもあり、子どもたちは興味津々の様子でした。



▲お手玉を使った運動に取り組む参加者たち

みんなで楽しく、音楽で「脳トレ」

くにみ観月台カレッジ 健康セミナー

くにみ観月台カレッジ健康セミナーが7月7日、認定音楽療法士の近藤美智子先生を講師に迎え観月台文化センターホールで開催されました。受講生56人は軽快な話術や笑いとともに、お手玉や鳴子を使い音楽に合わせた認知機能を高める運動に取り組み、充実した時間を過ごしました。

お知らせ

伊達地方
消防組合職員募集

令和6年度採用の伊達地方消防組合職員の採用試験を実施します。

- ▼職種 消防吏員
▼採用予定 5名
▼受験資格 平成11年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた方(性別、学歴は問いません)
▼受付期間 7月12日(金)から8月10日(木)まで
▼1次試験 9月17日(日)
▼申し込み 受験申込書は消防本部総務課で配布します。消防組合ホームページからのダウンロードも可能です。必要事項を記入のうえ、消防本部総務課へ持参又は郵送により申し込みください。

伊達地方消防組合消防本部総務課
☎575-0180



自衛官募集

令和6年度入隊の自衛官の採用試験を実施します。

- 【一般曹候補生】
▼資格 18歳以上33歳未満の者
▼受付期間 9月5日(火)まで
▼試験期日 1次:9月15日から24日、2次:10月14日から11月5日(いずれも1日を指定されます)
【自衛官候補生】
▼資格 18歳以上33歳未満の者
▼受付期間 年間を通じて受付
▼試験期日 受付時又はホームページにてお知らせ

自衛隊福島地方協力本部福島募集案内所
☎545-7995



8月15日の黙祷と
半旗の掲揚

8月15日は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」として、日本武道館で政府主

8月は食品衛生月間

食中毒は毎日食べている家庭の食事でも発生します。特に夏場は気温が高く、細菌が増えやすくなるため、食中毒が起きやすくなります。家庭での食事作りの食中毒予防のポイントをチェックしてみましょう。

- 【食中毒予防の3原則】
・食中毒菌をつけない…手洗いの徹底、器具の使い分け(肉、魚、野菜で分ける)
・食中毒菌をこやさない…温度管理(冷却)、常温に放置しない、作ったらすぐ食べる
・食中毒菌をやっつける…十分な加熱(中心部まで火を通す)。ノロウイルスは85℃90秒以上
☎534-4305

児童扶養手当の
手続きについて

8月から9月にかけては「児童扶養手当」「特別児童扶養手当」「ひとり親等家庭医療費助成」の受給資格確認

催の全国戦没者追悼式が開催されます。

町においても、先の大戦で亡くなられた方々を追悼し、平和を祈念するため、黙祷と半旗の掲揚を実施します。趣旨をご理解のうえ、協力をお願いします。
▼式典当日(8月15日)の正午、各家庭や職場などで1分間の黙祷をささげてください。
▼式典当日、各職場などにおいて半旗を掲揚してください。

福島県社会福祉協議会
☎585-2793

農作業を手伝って頂
ける方を大募集!

短時間でもOK!空いた時間に収入確保!
▼募集要項 初心者大歓迎(経験不問)、農業に興味のある方、午前だけ・午後だけでもOK
▼就労エリア 国見町
▼農作業の種類 モモの管理作業(3から6月)、ぶどうの管理作業(6から7月)、野菜の定植(4から6月)

農作業技術養成講座
農家をお手伝いして頂ける方の技術を養成する講座を開催します。
▼対象者 農業に興味のある方(経験不問)、研修後に農家を手伝って頂ける方
▼定員 20名程度
▼講習料 無料
▼募集期間 8月10日(日)まで
▼申込方法 住所、氏名(フリガナ)、電話番号(携帯電話)を伊達市農林業振興公社へ電話かFAXで申し込みください。
☎573-2150
FAX 573-2350
▼講座期間(全2回) 8月16日(日)(午前9時から午前11時30分)※受付開始:午前8時45分)及び令和6年2月下旬から3月上旬頃実施

野菜や果物の収穫作業(5から11月)など
☎575-0148 (月曜日から金曜日、午前8時30分から午後5時まで※祝祭日を除く)

農作業技術養成講座

農家をお手伝いして頂ける方の技術を養成する講座を開催します。
▼対象者 農業に興味のある方(経験不問)、研修後に農家を手伝って頂ける方
▼定員 20名程度
▼講習料 無料
▼募集期間 8月10日(日)まで
▼申込方法 住所、氏名(フリガナ)、電話番号(携帯電話)を伊達市農林業振興公社へ電話かFAXで申し込みください。
☎573-2150
FAX 573-2350
▼講座期間(全2回) 8月16日(日)(午前9時から午前11時30分)※受付開始:午前8時45分)及び令和6年2月下旬から3月上旬頃実施

予定
▼場所【講義】伊達市役所保原本庁舎1階シルクホール【実習】伊達市保原町上保原 実習農場
☎573-2150
自筆証書遺言書保管制度・相続登記申請義務化に関する説明会
法務局職員が講師となり「自筆証書遺言書を法務局で保管する制度」や「相続登記の申請義務化」について説明会を開催します。
福島地方法務局を拠点として、相馬、郡山、白河、会津若松、いわきにある法務局をWEB会議システムを利用して中継するので、遠方の方でも参加可能です。事前予約が必要ですが、参加は無料ですので、ぜひご参加ください。
▼日時 9月12日(日)(午前10時から1時間程度)
▼申込方法 電話のみ
☎534-1971

更新期間です。対象者にはそれぞれ通知していますので、受付期間内に忘れずに手続きをしてください。
▼児童扶養手当 離婚などにより父又は母がいない18歳未満の児童を監護する母又は父等に対し、支給される手当
▼特別児童扶養手当 一定以上の障がいを持つ20歳未満の児童を監護する父母等に対し、支給される手当
▼ひとり親等家庭医療費助成 離婚などにより父又は母がいない18歳未満の児童を監護する母又は父等に対し、保険診療の自己負担分の一部を助成する制度
※いづれも所得などの要件があります。各制度の詳細は、町ホームページを確認いただくか、問い合わせください。

福島県社会福祉協議会
☎585-12793

「児童福祉週間」
標語の募集

毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を児童福祉週間と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業を行っています。詳細は児童育成協会のホームページを確認いただくか、問い合わせください。

「こどもの人権相談」
電話相談の実施

福島地方法務局と福島県人権擁護委員連合会は、8月23日から29日までの7日間、全国一斉「こどもの人権相談」強化週間として、いじめや嫌がらせ、虐待、

福島県社会福祉協議会「こどもの人権相談」係
☎03-5357-1174

体罰など子どもの抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談は人権擁護委員及び法務局職員が応じ、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。
▼期間 8月23日(日)から29日(金)までの7日間
▼時間 午前8時30分から午後7時まで※26日(土)、27日(日)は午前10時から午後5時まで
▼電話番号 ☎0120-007-1110
☎534-1994

宝くじがネットで
購入できる!
宝くじ公式サイト
宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます
お問い合わせ先 宝くじコールセンター TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)
TEL 011-330-0777 (有料)

広告掲載

- 8/8 火 ・広報くにみ 8月号発行日
- 9 水 ・イキイキ子育てクラブ
・少年仲間づくり教室「キャンプ」(～10日)
・いきいきサロン藤田(午後1時30分～)
- 10 木 ・心配ごと相談(午前9時～正午)
・戸籍係窓口延長(午後7時まで)
- 11 金 ・山の日
- 12 土
- 13 日
- 14 月
- 15 火
- 16 水
- 17 木 ・3歳6か月児健診
・戸籍係窓口延長(午後7時まで)
・夏休み学習会(～18日)
- 18 金 ・パーゼンドルファー試弾会(1日目)
・子ども司書活動「くにみ幼稚園預かり保育おはなし会」
- 19 土 ・パーゼンドルファー試弾会(2日目)
・夏休み親子クッキング教室
- 20 日 ・市町村対抗ソフトボール・野球大会結団式
- 21 月 ・教育委員会定例会(観月台文化センター・午後5時15分～)
- 22 火 ・いきいきサロン石母田(午後1時30分～)
- 23 水 ・ニコニコ相談会
・図書館事業「大人の文学講座②」
・いきいきサロン泉田中(午後1時30分～)
・心配ごと相談(午前9時～正午)
- 24 木 ・3・9か月児健診
・戸籍係窓口延長(午後7時まで)
・ブックスタート
- 25 金 ・いきいきサロン源宗山(午前10時～)
- 26 土
- 27 日 ・結婚世話やき人月例相談会(午後1時～午後3時)
・マイナンバーカード休日臨時相談窓口
・国見町・桑折町青少年健全育成剣道大会、復興祈念剣道大会
- 28 月 ・いきいきサロン板橋(午前10時～)
・高城(午後1時30分～)
- 29 火
- 30 水 ・イキイキ子育てクラブ
- 31 木 ・いきいきサロン大枝(午前10時～)
・戸籍係窓口延長(午後7時まで)
- 9/1 金 ・いきいきサロン第4(午後1時30分～)
- 2 土 ・子ども司書講座「本の装備」
- 3 日 ・少年仲間づくり教室「ウッドクラフト教室」
- 4 月 ・いきいきサロン川内(午後1時30分～)
・観月台文化センター休館日
- 5 火 ・いきいきサロン内谷・鳥取(午後1時30分～)
- 6 水 ・いきいきサロン太田川(午後1時30分～)
・子育てひろば
- 7 木 ・いきいきサロン塚野目(午後1時30分～)
・戸籍係窓口延長(午後7時まで)
・子ども移動図書館(2年生)
- 8 金 ・いきいきサロン第8・9(午後1時30分～)
・観月台カレッジ「研修旅行」
・家庭教育講演会
- 9 土 ・国見っ子わんぱく広場「体を使ったゲーム」
・大枝地区防災訓練
- 10 日 ・市町村対抗福島県軟式野球大会(～10/9まで)
・地区防災訓練(大枝地区を除く)

9月の休日当番医(診療時間:午前9時～午後5時)

当番日	医療機関名	電話番号
3日(日)	さとうファミリークリニック (伊達市保原町上保原中島8-5)	☎574-2811
10日(日)	まつもとクリニック (桑折町南半田六角15-1)	☎582-4800
17日(日)	(医)武田小児科 (伊達市保原町字栄町51)	☎575-2439
18日(祝)	(医)すずき医院 (伊達市保原町西町175)	☎575-2563
23日(祝)	(医)伊達セントラルクリニック (伊達市保原町字西町189-1)	☎575-3215
24日(日)	(医)なかのクリニック (伊達市保原町城ノ内20-1)	☎575-2246

【休日救急歯科診療】(日・祝)
受付時間:午前9時から午後4時30分まで
場所:福島市保健福祉センター(福島市森合町10番1号)
※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

お盆期間中の診療状況(国見町)

医療機関名	8/12(土)	8/13(日)	8/14(月)	8/15(火)	8/16(水)
(医)武田胃腸科内科医院 ☎585-2630	×	×	×	×	×
(医)村上医院 ☎585-2152	○ (午前・午後)	×	×	×	×
公立藤田総合病院 ☎585-2121	×	×	○ (午前・午後)	○ (午前・午後)	○ (午前・午後)

戸籍の窓口

6月21日～7月20日受付分

【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

●誕生おめでとう●

山浦 なつめちゃん (藤田光陽)
一直さん 裕美さん

●おくやみ申し上げます●

松田 平治さん 85 (貝田)
佐野 正子さん 78 (第8)
熊坂 正さん 87 (内谷西)
秦 ミエさん 93 (本町)
武田 将幸さん 62 (山根)
朽木 欣也さん 87 (板橋)
佐藤 英夫さん 89 (国見の里)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和5年6月30日現在

※住民基本台帳人口

人口	8,272人	(-13)
男	3,988人	(-8)
女	4,284人	(-5)
世帯	3,384世帯	(+1)

町営住宅・定住促進住宅の
空室状況をお知らせします

(令和5年7月末)

定住促進住宅	2部屋	滝山団地	1部屋
子育て住宅	空室なし	板橋南団地	空室なし

建設課管理係 ☎585-2972

今月の納期限は8月31日(木)

町税等は『口座振替』が大変便利です

町県民税(普通徴収)【第2期】

税務課課税係 ☎585-2778 税務課収納係 ☎585-2780

国民健康保険税(普通徴収)【第2期】

後期高齢者医療保険料(普通徴収)【第1期】

ほけん課国保係 ☎585-2785

介護保険料(普通徴収)【第2期】

福祉課長寿介護係 ☎585-2125

- ・振替口座の預貯金残高を前日までに確認してください。
- ・コンビニエンスストアやスマートフォン決済アプリからの納付も可能です。
- ・QRコードが印刷されている納付書は「地方税お支払いサイト」から電子納付が可能です。詳しくは町HPをご確認ください。

『広報くにみ』をもっと身近に

スマートフォンやタブレット端末などで、いつでもどこでも簡単に「広報くにみ」を読むことができるよう、「マチイロ」「マイ広報紙」を導入しています。ぜひ利用ください。



『広報くにみ』に掲載された
写真を希望する方は
総務課秘書広報係
(☎585-2113) まで
ご連絡ください。



広告掲載

夢に向かって

信頼される人になりたい——

野村 鴻志 さん (県北中3年)

僕の将来の夢は、まだはっきりしていませんが編集者が研究者になることです。イラストを描いたり、ストーリーを考えることがあまり得意ではないのですが、編集者として作品を読んで評価し、作者と一緒にひとつの作品を作り上げていくことに魅力を感じました。研究者は、コロナ禍で世の中の動きが停滞していても、さまざまな研究を進めていました。緊急事態の時でも、世界を救うために頑張る姿に憧れを持ちました。また、自分の世界に没頭し、好きなものに集中して取り組めるところに魅力を感じました。親にも、そういう職業が合っているのではないかとされたこともありました。

今は思ったことを言葉にできるよう、国語の学習に集中して取り組んでいます。たくさん本を読んで知識を取り入れたいです。作家のサポート役、裏方としてしっかりと支えられるようになりたいです。この人なら任せられるというような編集者を目指したいです。

理科の授業も頑張っています。授業の中で面白いと思ったことや興味を持ったことがあったら、それを深く掘り下げて調べるようにしています。研究者になったら、世界の役に立つような、日々の暮らしを便利にする研究をしたいです。どちらの夢をかなえるにしても、自分の周りにたくさんの方がいて、信頼される大人になりたいです。実行力や決断力、コミュニケーション力が大切だと思うので、日々努力を続けていきます。



男子バレー部に所属し、生徒会では会計を務める野村鴻志さん。先日の子ども議会では子ども議員を務めました。自分の意見をしっかりと発言する姿は、とても頼もしく見えました。



町長コラム

ま 真 こらむ

【第25回】

通じ合う関係 —ソフトスポ少大会—

朝から強い日差しがグラウンドを焼く。今年で12回目の国見ソフトボールスポーツ少年団長杯の大会。まず21チームが、あつかしブロックとよしつねブロックに分かれてのリーグ戦。その後、ブロックごとに上位チームは決勝トーナメント戦へ進む。郡山や二本松から参加するチームもある大きな大会。

7月16日。よしつねブロック。国見チームの1回戦を応援。点の取り合い。シーソーゲーム。8対7で勝利。2回戦も5対1。連勝。

1回戦を応援していて印象的だったのは、相手チームの監督が大声で子どもたちにゲキを飛ばすのに、国見チームの監督や指導者たちは静かだったこと。もちろん「ここぞ」という場面での声掛けはするけど、じっと子どもたちのプレーを見守っていたこと。

開会式の前。国見を指導している伊藤さんが「今年のチームは力があるよ。いいところまで行くよ」と話してくれたことを思い出す。静かに子どもたちのプレーを見る彼らは、自分たちが指導してきた子どもたちを信じているんだろうな。そしてプレーしてる子どもたちも、指導者たちに視線を送って気持ちを落ち着かせたり、奮い立たせたりしてるんだろうな。通じ合うものがあるんだろうな。

この日、国見チームはリーグ戦1位通過。決勝トーナメント戦では、二本松のチームに敗れたけど、堂々の準優勝。すげえ〜。おめでとう。も一つ感心するのは、この大会、全て国見ソフトスポ少のお父さんとお母さん、指導者たちで運営してること。これもすげえ〜。



引地 真